

まさにオールリバーキャスト! 4年ぶりに徳島で日本三大河川 シンポジウムを開催しました

平成24年に兄弟縁組を締結して以来、交流を深めてきた日本三大
暴れ川の仲間が、4年ぶりに徳島にやってきました。

今回の「日本三大河川シンポジウム in 吉野川」は、
「まるごと吉野川“魅力再発見”講座」連携講座と
位置付け、兄弟河川の利根川、筑後川に加え、四國
の河川で活動する人達も大集合しました。



NPO法人 利根川流域交流会

理事長 福成 孝三さん 副理事長 熊倉 浩靖さん

まずは三大河川の長男・利根川から、
源流域・群馬県の「みなみみユネスコエ
コパーク」について紹介がありました。
平成29年(2017)のユネスコエコパー
ク(生物圏保存地域)登録以来、行政、
企業、自然保護団体などが一体となり、
山と森林と川を守る取組を進めています。
「企業の参加や教育的効果など、今
までなかつたつながりや広がりが生まれ
ることが期待できる」と、NPO法人
利根川流域交流会の熊倉浩靖副理事長
は声を弾ませました。

令和6年1月20日、徳島市のあわぎん
ホール(徳島県郷土文化会館)大会議室
において、「日本三大河川シンポジウム in
吉野川」を開催しました。4年ぶりと
なる今回は、三大河川だけでなく、四国
各地で活動している河川団体もお迎え
し、「川を活かした地域振興に係る取
組」をテーマに意見交換を行いました。

第1部



NPO法人 筑後川流域連携俱楽部

理事 吉田 貴衣さん 駄田井 正さん 緒方 悅子さん

「次郎とともに」というスローガンを
掲げて登壇したのはNPO法人筑後川
流域連携俱楽部の吉田貴衣理事、緒方
悦子さんのおふたり。筑後川フェスティバル、
流域全体をひとつのテーマパークと
してとらえた「筑後川まるごとリバ
パーク」、筑後川ブランドなど9つの地域
振興事例を発表。Webラジオ「筑後川
流域ラヂヲ」による情報発信といった
新しい取組もありました。

第2部は四国の三河川から。かわとま
ちが一体となつた「かわまちづくり」を目
指し、ハード・ソフト両面から整備を進
める肱川かわびらき実行委員会(愛媛
県)、続いて、公益財団法人四万十川財
團からは、国の重要文化的景観に選定
された高知県・四万十川流域の美しい
景観を保全・活用する取組の発表があ
りました。高知県からはもう一河川、一般
社団法人仁淀ブルー観光協議会から、
流域全体で展開する期間限定の体験型
河川敷を子どもに見立て、自
分達の手でき
れいにしよう
という「アドプ
ト・プログラム
吉野川」は全国に誇れる取組です。会場
入口に展示された大きなアドプト・マップ
も参加者の注目を集めました。

そして、我らが吉野川。歴史・文化、
環境などさまざまな角度から吉野川に
ついて学ぶ「まるごと吉野川“魅力再発
見”講座」、親子で川に親しんでもらう
「交流体験inよしのがわ」など吉野川交
流推進会議の8つの事業を発表。なかでも、



吉野川交流推進会議

会長 福永 義和さん 副会長 中村 英雄さん

流域全体で展開する期間限定の体験型
河川敷を子どもに見立て、自
分達の手でき
れいにしよう
という「アドプ
ト・プログラム
吉野川」は全国に誇れる取組です。会場
入口に展示された大きなアドプト・マップ
も参加者の注目を集めました。



司会の萩田ひとみさんは
藍染めで徳島をアピール